



年 組 名前

道新  
ワークシート
**図A** エスタの大規模テナントの  
移転先とオープン日

|   |                    |
|---|--------------------|
|    | 東急百貨店5、6階<br>9月1日  |
|   | 東急百貨店7階<br>9月8日    |
|    | 東急百貨店9階<br>9月中旬以降? |
|    | ①                  |

2030年度末予定の北海道新幹線札幌延伸に向けた再開発事業に伴う、JR札幌駅直結の商業施設エスタ(札幌市中央区北5西2)の閉館まで31日で残り1カ月。1〜4階のビックカメラを含む大型テナント4店は、市内外から多くの人が集まる駅周辺にとどまる形での移転を決めた。一方、市内中心部は賃料が上昇し、再開発ラッシュで空きテナントの確保自体が難しく、「サツエキ」エリアからの撤退や、エスタに合わせて閉店することを選んだテナントもある。

エスタは地上11階、地下3階(店舗部分以外を含む)で、テナントは113店。大型店のうち家電量販店のビックカメラ、ファーストリテイリング傘下の衣料品販売ユニクロとジーユー(GU)、ゲームセンターなどのバンダイナムコ

# 大型テナント 近隣移転

## 札幌・エスタ閉館まで1カ月

### 賃料高騰や店舗不足…

### 小規模店は撤退、閉店も



8月末で閉館となるエスタ。ビックカメラなどは道路を挟んで南側のさっぽろ東急百貨店に移転する。6月(本社ヘリから、富田茂樹撮影)

アミューズメントは、道路を挟んで南側のさっぽろ東急百貨店(同区北4西2)に移転する。

東急百貨店は近年、集客力のあるテナントへの売り場の賃賃を全国で拡大している。この方針が、エスタからの移転先を探していた4店の意向に合致。さっぽろ東急が10月に50周年を迎え、大規模リニューアルを行うタイミングだったこともあり、話がまとまった。

テナントによっては、札幌駅周辺から離れる動きも出ている。雑貨などを扱う大型店のロフトは大通・狸小路地区の新施設「movuk SAPPORO(モユクサップロ)」へ移転する。「ましま

った規模の売り場を確保できない」と、市内中心部から撤退する大手アパレルもある。

小規模店も「札幌駅周辺に今と同じ賃料で入れる場所はない(雑貨店)」、「エスコフィールド北海道の店舗に人員を集中させた」(ファーストフード店)などの理由で、近隣への移転を諦めるケースが見られる。

エスタ地下1階の洋菓子の梅屋は閉館も見据え、限定品のチーズケーキのみを扱う店舗を今年5月にさっぽろ東急に出した。「この時代からお世話になったエスタを途中で出るつもりはない」と、現在は2店が並行して営業している。

エスタを運営する札幌駅総合開発は、8月1日から全テナントを紹介する冊子を配布し、地下の食品街ではセールや限定商品の販売を行う。来店客に思い出などを書き込んでもらうメッセージカードは1万3千枚を超えた。

エスタの建物は年内に解体に入る。新たなビルは28年度に完成予定。新ビルの運営主体やテナント構成は決まっていない。(権藤泉)



年 組 名前

---

# 道新で ワークシート

- ① 記事を読み、図Aの空欄①に当てはまる「移転先」を次の中からひとつ選びなさい。

ステラ・プレイス

モユクサッポロ

札幌・エスタ

狸小路商店街

- ② 記事内では「大規模テナント」だけでなく、「それ以外の店舗や業種」の実態についても言及していますが、その内容をまとめた次の文の中から、記事の内容として適切なものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア 再開発ラッシュで空きテナントが豊富にあるが、賃料が上昇し移転できない

イ 市内中心部では、まとまった規模の売り場を確保することが難しく撤退する

ウ 札幌駅前から撤退して、他の地域にある店舗で収益を上げようとしている

エ 再開発ラッシュに便乗して、高い賃料の店舗へ移転している

オ 人がたくさん集まる駅周辺へ移転する